

平成24年度事務事業評価シート（23年度実施事業分）

事業番号	14 05 07	中期総合計画主要施策番号	4-01	担当課	部・課	教育委員会事務局 教学指導課	
事業名	キャリア教育推進事業				内線	4389	
					E-mail	kyogaku@pref.nagano.lg.jp	
実施期間	H23 ~	根拠法令等					
実施方法	県が直接実施、市町村へ委託し実施					国庫・県単	国庫補助事業・県単独事業

事業の概要等	目的 (必要性)	幼保・小・中・高における一貫したキャリア教育の体系的指導の検討と各校の教育課程等への位置づけの点検、地域・保護者・企業が学校を支える仕組みを備えたガイドラインの作成				
	対象	公立幼稚園・保育園・小学校・中学校・高等学校の児童・生徒				
	目指すべき姿	<ul style="list-style-type: none"> ・長野県キャリア教育ガイドラインを策定、小中高一貫したキャリア教育の普及・啓発 ・家庭・地域社会の教育力を生かし、地域全体で子どもを育てる仕組みの構築 				
	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・長野県キャリア教育ガイドラインの策定 ・職場体験の実施(義務教育・高等学校) ・産学官連携キャリア教育推進事業 ・地域の特性を踏まえた実践研究 				

事業コスト	区分	単位	22年度	23年度	24年度(当初)	23年度事業費の主な内訳 役務費(保険料):1,069千円 委託料:709千円
	最終予算額 (A)	千円		3,428	22,266	
	決算額 (B)	千円		2,846		
	B(H24はA)のうち一般財源	千円		1,318	9,556	
	概算人件費	人		2.00	2.00	
	概算事業費 (B(H24はA) + C)	千円	0	16,516	16,516	
			0	19,362	38,782	

事業実績	成果指標・活動指標内容	単位	22年度	23年度	24年度(見込)	左記以外のH23年度実績 ・長野県キャリア教育ガイドラインの策定 ・実践事例集の作成(小・中編) ・効率指標:事業コストに大きな変動等があり、適当な指標がないため、記載できない。
	職場体験実施校(中学3日以上)(活)	校		91	120	
	高校生の就業体験者率(成)	%		11.1	12.0	
	ずく出せ修行実施人数(高校)(活)	人		5,305	7,000	
	<効率指標(単位当たりコスト等)>					

事業の成果	事業の目標(H23)		事業成果・評価			評価区分 b 期待どおり
	<ul style="list-style-type: none"> ・長野県キャリア教育ガイドラインの策定 ・職場体験の実施 ・産学官連携キャリア教育推進事業 ・地域の特性を踏まえた実践研究 		<ul style="list-style-type: none"> ・長野県キャリア教育推進協議会を設置し、H23.11月に「長野県キャリア教育ガイドライン」を策定することができた。 ・就業体験校並びに体験者は概ね順調であった。 ・地域・産業界と連携体験型活動を行い、生徒の進路指導の参考になった。 ・3地区(飯田市・長和町・中野市(中野西高校))を指定し実践研究を行った。その後、事例集を作成し、関係団体等に配付・周知を図った。 			

事業の課題	区分	判定・説明				
	事業ニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明 ・若者の社会的・職業的自立の遅れが指摘されており、学校だけでなく、社会が一体となってキャリア教育を推進していくニーズが高まっている。 ・今後、新たに策定したガイドライン等に基づき、事業を推進していくことにしている。	
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		
	事業改善(有効性・効率性)の余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		

総合分析等	総合分析 (今後の課題、取組方針等)	<ul style="list-style-type: none"> ・「長野県キャリア教育ガイドライン」に基づき、各校で教員研修を通して共通理解を図る。 ・現在行っているキャリア教育を見直し、体系化する。 ・3日以上職場体験実施校数並びに高校生の就業体験率を目標値に届くよう一層の推進を図る。 ・普通科高校生の就業体験活動の推進と市町村プラットフォームの構築を進める。 				
	特記事項					